

平成27年度
千代田区立麴町幼稚園
幼稚園経営（評価）報告

平成28年3月

千代田区立麴町幼稚園

目 次

I	平成27年度千代田区立麴町幼稚園経営（評価）報告	・・・	P 1
II	目標と方策の評価 計画	・・・	P 4
III	目標と方策の評価 幼稚園評価資料・考察（平成27年度）		
I	たくましい子ども	・・・	P 6
II	なかよくあそぶ子ども	・・・	P 7
III	かんがえる子ども	・・・	P 8
IV	その他	・・・	P 9
【参考資料】	・・・		P 1 2
1	保護者アンケート	・・・	P 1 3
2	自己（幼稚園の）主な評価（改善点）	・・・	P 1 4

I 平成27年度千代田区立麴町幼稚園経営（評価）報告

1 目指す幼稚園

- 子供たちがよく遊びよく学び心身ともに健やかに育つ幼稚園。
- 保護者や地域も加わって園が生き生きと活気ある活動を展開する幼稚園。
- 子供がよりよい幼稚園生活を送れるよう幼稚園運営等を改善し発展する幼稚園。

* P D C A サイクルに沿った O J T による幼稚園運営

2 目指す幼児像

人権尊重の精神を培い、意欲的にものごとに取り組み、心豊かで思いやりのある幼児の育成を目指す。

- ◎ たくましい子ども（元気に遊び、目的に向かってあきらめずに取り組む子ども）
- なかよくあそぶ子ども（友達と心を通い合わせる子ども）
- かんがえる子ども（興味・関心をもって様々なことにかかわり工夫する子ども）

〔指針〕 日常生活で幼児たちに伝え、心がけること

心に関する力「手と手（人と人）のつながり」「言葉のつながり」「心のつながり」という「3つのつながりを大切にすること」「自ら考えて行動すること」、そして、そのために「あいさつ・返事・後始末をしっかりと行おう」ということを繰り返し話していく。

3 目標と方策の評価

(1) 計画 (P4)

(2) 幼稚園評価資料・考察 (P6)

目指す幼児像・目標の3領域「たくましい子ども」「なかよくあそぶ子ども」「かんがえる子ども」における総括（まとめ）を次に記載する。

○印：成果 ●印：課題・改善

たくましい子ども【総括】

○体育館・校庭・みんなのへやなどを活用し、様々な運動遊びを取り入れることで、幼児が体を動かす楽しさを感じ、すすんで運動遊びに取り組むようになっている。

また、4・5歳児の温水プールの活用や、水泳指導員によるプールでの水遊びの指導は、幼児の水遊びへの興味を広げ、自分で目的をもち、意欲的に水遊びに取り組むことにつながっている。

○幼児の興味や発達に応じた環境構成や教材の取り入れを工夫することで、幼児が興味関心をもって主体的に環境にかかわり、自分の目的の実現に向け繰り返し遊び、あきらめずに取り組むようになってきている。

●運動や水遊びを苦手と感じている幼児にとっては、水泳指導員による専門的な指導は、抵抗がある様子が見られた。担任による指導と併用して実施することで、幼児の発達や興味に応じた指導を展開していくようにする。

なかよくあそぶ子ども【総括】

- 幼児一人一人の主体的な遊びを認め支えることで、幼児が自分自身で遊びや生活を進めるようになってきている。一人一人が自立することにより、友達への思いやりや互いに認め合う気持ちが育ってきている。
 - 廊下やみんなのへや、園庭などの共有スペースを活用することで、異年齢が日常的に交流をもつようになってきている。異年齢交流の中で、刺激を受けあったり、憧れや思いやりの気持ちをもったりし、豊かなかかわりにつながっている。
 - 麴町小学校や麴町保育園との交流活動、特別養護老人ホームへの訪問や地域の方との昔遊び体験など、様々な人と触れ合う機会を計画的に実施することで、人とかかわる楽しさや心地よさを感じ、人への親しみの気持ちをもつようになってきている。
- 友達と仲良く遊ぼうとする反面、トラブルや争いごとを避け、自分の思いをはっきりと伝えずにあきらめてしまったり、友達との遊びをやめてしまったりする傾向もみられる。トラブルや葛藤体験の場面で、教師が仲立ちとなり思いを伝え合えるようにしたり、幼児の思いを受け止め共感しながらも、嫌な事でもあきらめずに乗り越えていけるように励ましたりしていく援助が必要である。

かんがえる子ども【総括】

- 幼児が「やってみよう」「試してみよう」と思えるような環境を工夫することで、幼児が興味関心をもって主体的に環境にかかわり、目的の実現に向け、考えたり試したり工夫したりして遊ぶようになってきている。また、年齢や発達に応じた教材の取り入れをすることで、「できた！またやりたい！」という思いから、繰り返し遊びに取り組んだり、遊びの中で先行経験を生かすようになっていたりしている。
 - 土の園庭を生かして、自然環境を整備し意図的に遊びに取り入れれたり、専門家による稲作や野菜の栽培活動を実施したりしたことで、幼児が「不思議だな」「面白いな」「もっと知りたい」という思いをもち、興味関心や探究心を高めることにつながっている。
- 成果は見られているが、まだ新しいこと、難しそうなこと、達成できなそうなことに取り組もうとしない傾向もみられる。幼児が自信をもって遊びや生活に取り組めるよう、幼児の遊びや生活を支え実現の喜びを味わわせるとともに、意欲的に遊びに取り組める環境の工夫をさらに実施していく。

(3) 評価については、平成26年度の各評価を指標にして、次の2つの評価を実施し、本幼稚園経営（評価）報告（案）を作成した。

○保護者アンケート【P13】

○自己（幼稚園）主な評価（改善点）【P14】

※幼稚園運営連絡会による「幼稚園経営（評価）報告」の評価と承認について

2月25日に開催された学校・幼稚園運営連絡会において、本「幼稚園経営（評価）報告」を

評価（学校の自己評価が適切に行われたかどうか、学校運営の改善に向けた取組みが適切かどうか検証）し、承認されたので、教育委員会に報告した。

4 平成28年度の教育課程の主な改善点

(1) 「こどもかい」開催日について

2週続けて土曜日に保育を実施することは、家庭での日程調整等が困難なため、土曜保育ではない土曜日に実施していた「こどもかい」を、平成28年度は、12月第2週の土曜日（土曜保育日）に実施する。

○こどもかい（保護者鑑賞日）…平成28年12月10日（土）

(2) 「おやこでスポーツ」の事前説明会について

「おやこでスポーツ」の意図や内容について、保護者に十分にご理解いただくため、「おやこでスポーツ」実施週の水曜日に、事前説明会を行う。

○おやこでスポーツ事前説明会…平成28年10月12日（水）

(3) 保幼小交流の拡充について

幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るため、10月に実施している麴町小学校1年生と本園5歳児交流の活動時に、新たに麴町保育園5歳児を招いて一緒に活動する。

○幼保（5）小（1年）交流…平成28年10月27日（木）

(4) 評価を踏まえ継続して実施する平成28年度新規・時期変更の行事について

① 「昔遊びに親しむ」（新規行事）

2月13日（土）3学期の園公開で、地域の方の協力を得て実施した「昔遊びに親しむ」は、幼児、保護者、職員ともに評価が高かったので、平成28年度も実施する。なお、方法等は改善する。

○昔遊びに親しむ…平成29年2月25日（土）

② 「3歳児個人面談」（時期変更行事）

3歳児の個人面談を5月（弁当が始まり、保育時間が長くなる時期）に実施したことにより、幼児の様子を詳しく伝えることができた。また、1月に実施することにより1年を振り返るとともに進級を見据えた話し合いをすることができた。

このことを踏まえ、平成28年度も5月と1月に3歳児の個人面談を実施する。

(5) 預かり保育の拡充について

3歳児の預かり保育開始時期を早くしてほしいとの要望があったことから、3学期から実施していた3歳児の預かり保育を、平成28年度は12月中旬から実施する。

これに伴い、3歳児保護者対象の預かり保育説明会を12月上旬に実施する。

○預かり保育説明会…平成28年12月7日（水）

○預かり保育開始 …平成28年12月12日（月）

Ⅱ 目標と方策の評価 計画

目標	中期的な目標	指導の重点とする方策	評価／成果の指標 ※基本となる指標（平成26年度保護者アンケート） ※方策に対応する評価〔(数字)はアンケートの質問番号〕
<p>たくましい子ども 【5歳】 【4歳】 【3歳】 指導計画に記載</p>	<p>◎教職員が連携し、幼児一人ひとりの特性に応じた指導を行うことを通して、幼児の主体的な遊びを促し、幼児が自分の力を十分に発揮する楽しさが味わえるようにする。 ◎体を動かしたくなるような環境を工夫することで、いろいろな動きをする心地よさや楽しさを体験できるようにし、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。</p>	<p>◎興味をもったことに自らかかわり、繰り返し遊ぶ中で、新しい考えを生み出す楽しさやできるようになった喜びを味わわせ、あきらめずに取り組む力を育てる。(環境) ◎心と体の健康は相互に密接な関連があることを踏まえ、教師や友達とともに体を動かす中で、一人ひとりの幼児が自己の存在感や充実感を味わうことができるようにし、健康な心と体を育む。(健康)</p> <p>【環境の構成】</p> <p>◎多様な運動遊びを経験できるよう幼児の発達特性に合わせた魅力ある環境を整えるとともに、体育館・校庭・温水プールなどの施設や専門の講師を活用した指導を取り入れ、幼児が自ら体を動かそうとする意欲を育てる。</p>	<p>○基本的な生活習慣・遊びの充実について【資料1(1)】 ○たくましい幼児を育てるための環境の工夫について【資料2(6)】</p> <p>*自己(幼稚園)評価</p>
<p>なかよくあそぶ子ども 【5歳】 【4歳】 【3歳】 指導計画に記載</p>	<p>○主体的な遊びを支えたり、生活の仕方を工夫したりしながら、友達とのかかわりを豊かに展開できるようにし、友達と協同する力を育む。 ○小学校や近隣の保育所との連携や交流活動を計画的に実施し、人とかかわる楽しさを味わう中で、道徳性の芽生えを培い、様々な人への親しみの気持ちを育む。</p>	<p>○友達と協同的な遊びを楽しむ機会を重視し、様々な感情体験を通して自他を尊重し、人とかかわる力を育てる。(人間関係) ○友達や教師に自分の考えを話す経験や遊びの中で友達と話し合いをする経験を積み重ね、言葉に関する感覚や言葉で表現する力を育む。(言葉) ○体験したことや感じたことを表現したり、考えたことを実現したりする喜びを味わう活動を通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(表現)</p> <p>【環境の構成】</p> <p>○遊びを豊かに展開できるように、必要な経験を計画的に取り入れるとともに、保育の中に行事を無理なく位置づけることで、幼児が主体的に遊びを展開していく力を育む。 ○異年齢交流の充実に向け教職員の連携を密にし、日常的に交流をもてるような環境の使い方や活動の仕方を工夫する。その中で、幼児が様々な刺激を受け人との豊かなかかわりが経験できるようにする。 ○特別養護老人ホーム・商店などに出向き、様々な人と触れ合う機会を計画的に設定し、地域の様々な人への親しみや思いやりの気持ちを育む。</p> <p>【その他】</p> <p>○小学生との交流や合同行事を計画的に行い、憧れの気持ちや年長者とかわる心地よさを感じられるようにする。 ○近隣保育園5歳児同士の交流を計画的に実施する中で、教育内容の理解や教材の工夫など教師間の連携を密にし、幼児にとって互恵性のある活動になるようにする。</p>	<p>○豊かなかかわり・社会性や道徳性の芽生えについて【資料3(2)】 ○思いやりの心を育む交流活動について【資料4(7)】 ○豊かな心を育む伝統的な文化や行事について【資料5(9)】</p> <p>*自己(幼稚園)評価</p>

<p>かんがえる子ども</p> <p>【5歳】 【4歳】 【3歳】</p> <p>指導計画に記載</p>	<p>○興味、関心をもって関わるができる自然物を整備した園庭環境や、年齢・発達に即した遊具や教材が整った室内環境を通して、幼児の直接的な体験を促し、好奇心や探究心を育む。</p>	<p>○季節行事やお茶会など、日本の伝統文化にふれる機会を大切にし、豊かな情操を培う。(環境)</p> <p>○稲や野菜の栽培を通して、身近な自然環境への関心を高めたり、自分たちが栽培したものを食べる喜びを味わったりすることで、幼児の豊かな感性や自然を大切にする気持ちを育む。(環境)</p> <p>【環境の構成】</p> <p>○保護者や講師の協力のもと、自然環境の充実を図り、園庭での自然物を使った遊び、5歳児親子での稲作体験など、様々な自然体験を積み重ねることができる環境を構成し、豊かな感性を育む。</p> <p>○地域や保護者の協力のもと、お茶会や鏡開きなど伝統文化にふれる活動を充実させ、日本の伝統文化のよさや豊かさを感じ、季節感を味わえる潤いのある生活や遊びを保証する。</p> <p>【その他】</p> <p>○特色ある教育活動として、年3回のお茶会を七夕や雛祭りなどの季節行事と組み合わせながら実施し、日本の伝統文化を大切にする教育を推進する。</p>	<p>○豊かな感性や表現力・知的好奇心を育むことについて【資料6(3)】</p> <p>○知的好奇心をかきたて感動体験を味わう遠足などの園外活動について【資料7(8)】</p> <p>○環境教育の推進について【資料8(10)】</p> <p>○自然の美しさや生命の尊さに気付き大切にする気持ちを育む活動について【資料9(11)】</p> <p>*自己(幼稚園)評価</p>
<p>開かれた園運営</p> <p>○学校評価を教育内容の改善と家庭や地域の教育力の向上にを生かし、教育活動の充実を図る。</p>	<p>○保育所や小学校との教職員間と互いの教育内容を理解し合い、協力して幼児や児童を育てていくために情報交流を進め、共通認識に立った交流活動の推進に努める。</p> <p>○保護者の保育参加活動や自由参加型のボランティア活動などを通して、保護者が園児全員のすこやかな成長を見守り、子育ての楽しさを感じられるようにする。</p> <p>○地域協力者やスクールカウンセラーとの懇談会、司書による親子読み聞かせ、預かり保育の充実などを通して、子育て支援を推進する。</p> <p>○教育活動の様子や幼児の成長の姿などを発信するとともに、地域や保護者からの声を教育活動に反映させ、幼稚園・家庭・地域が協力し合って幼児を育成する体制を強化する。</p>	<p>○幼児理解について【資料10(4)】</p> <p>○子育てに関すること【資料11(12)(13)】</p> <p>○幼稚園理解に関すること【資料12(15)】</p> <p>*自己(幼稚園)評価</p>	
<p>特別支援教育の充実</p>	<p>○スクールカウンセラーや発達支援アドバイザーとの連携を深め、幼児を多面的に理解し、発達や特性に応じた指導の充実を図る。</p>		
<p>安全教育の充実</p>	<p>○多様な状況を想定した避難訓練、月一回の安全点検や環境整備の徹底、職員の危機管理意識の向上を図るとともに、安全に必要な習慣や態度を幼児が身に付けられるよう、指導を充実させる。</p>	<p>○安全指導等に関すること【資料13(14)】</p>	
<p>園内研究</p>	<p>○主題「たくましく生きる子どもの育成」 ～幼児の思考力・判断力・自己表現力を高めるための教師の援助～</p>		

Ⅲ 目標と方策の評価 幼稚園評価資料・考察（平成27年度）

○アンケートの実施日 平成27年12月

○アンケートの集計 平成27年度園児数(11/30日現在) 104 提出数 76

※集計は全学年・学年別で掲載する。(回答数の値は人数)

●グラフは「とても」「まあまあ」「あまり」「まったく」「判断できない」の項目順に表示する。

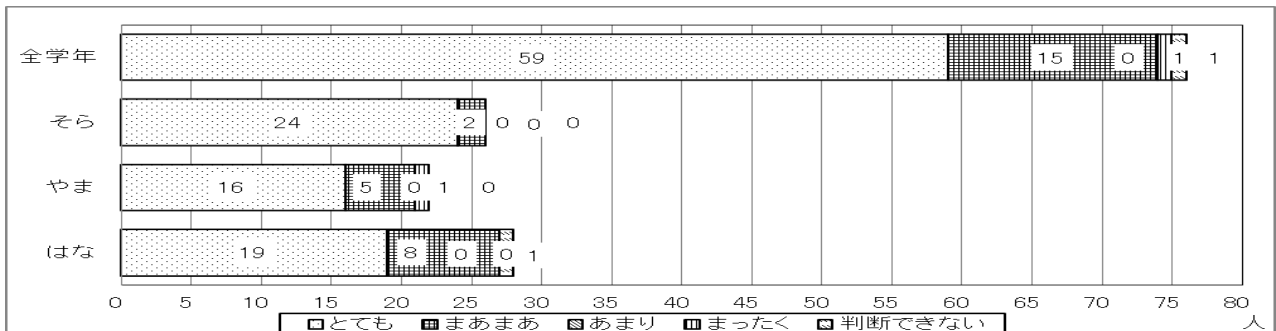
●考察は※印で記載する。

I たくましい子ども

1 目標と方策に関する調査（保護者アンケートから）

【資料1】 基本的生活習慣・遊びの充実について

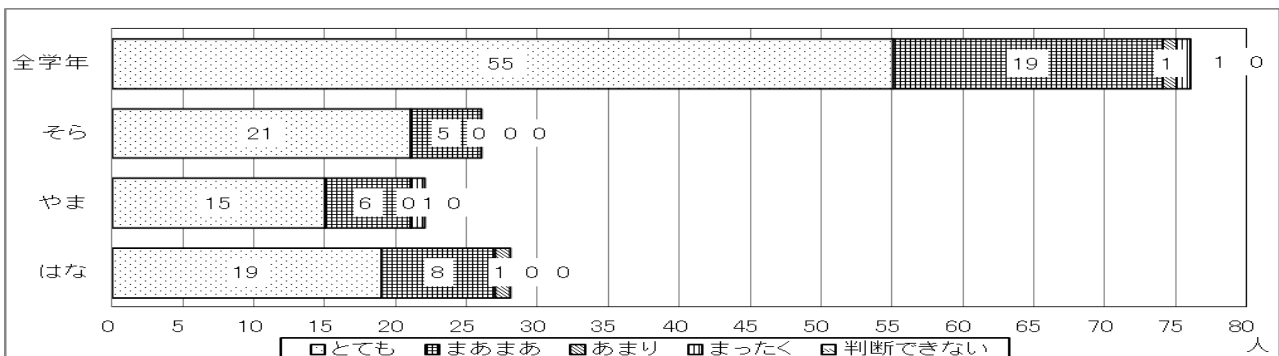
〔質問1〕 子供たちは、健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんだりしていると思いますか。



※引き続き子供たちが健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんだりしていけるように保育の充実を図っていく。

【資料2】 たくましい幼児を育てるための環境の工夫について

〔質問6〕 保育室、園庭、校庭、体育館、温水プールの特徴を生かし、運動遊びや体を動かす環境の工夫が行われていると思いますか。

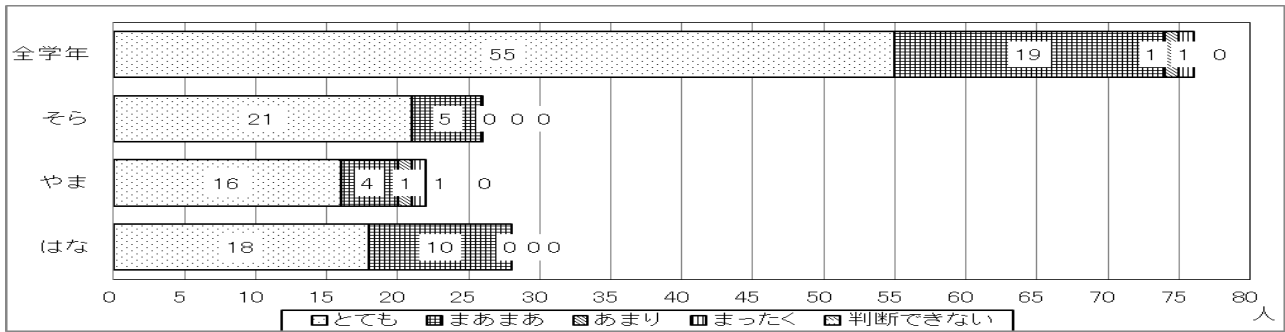


※引き続き保育室、園庭、校庭、体育館、温水プールの特徴を生かし、運動遊びや体を動かす環境の工夫を行っていく。

Ⅱ なかよく あそぶ子ども

【資料3】豊かなかかわり・社会性や道徳性の芽生えについて

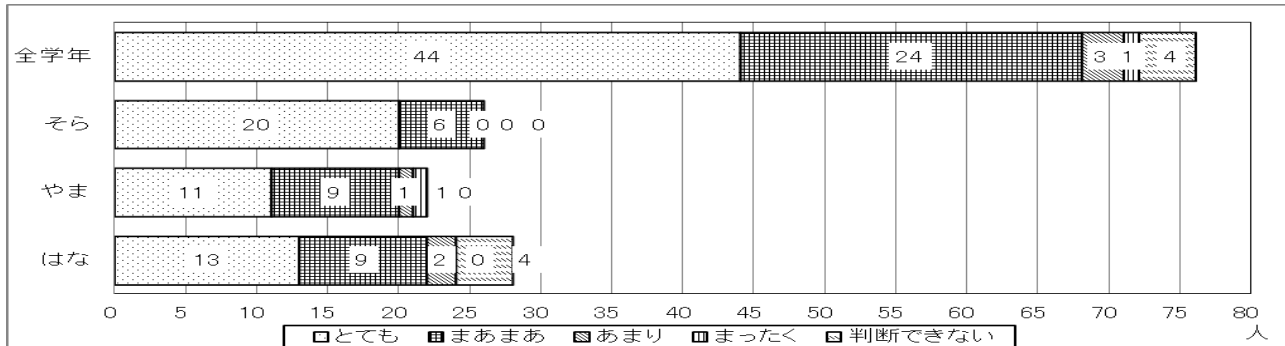
〔質問2〕子供たちは、先生や友達とかかわりをもちながら、またルールや約束を守って遊んだり生活したりしていると思いますか。



※引き続き子供たちが先生や友達とかかわりをもちながら、またルールや約束を守って遊んだり生活したりしていけるように保育の充実を図っていく。

【資料4】思いやりの心を育む交流活動について

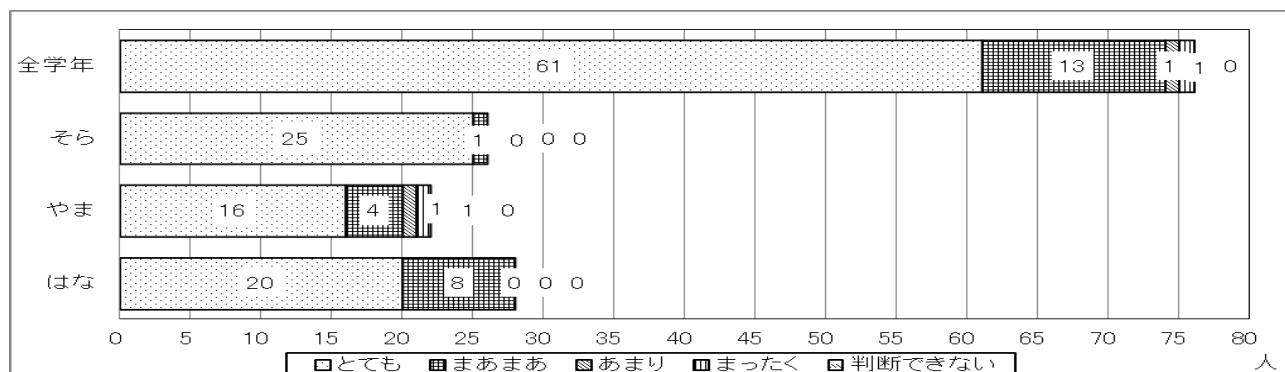
〔質問7〕保育園や小学校、地域との交流活動は、人とかかわりを豊かにし、思いやりなどの心を育んでいると思いますか。



※引き続き、人とかかわりを豊かにし、思いやりなどの心を育むことのできるよう、保育園や小学校、地域との交流活動を工夫し、内容の充実を図っていく。

【資料5】豊かな心を育む伝統的な文化や行事について

〔質問9〕季節行事やお茶会などは、豊かな心を育んでいると思いますか。

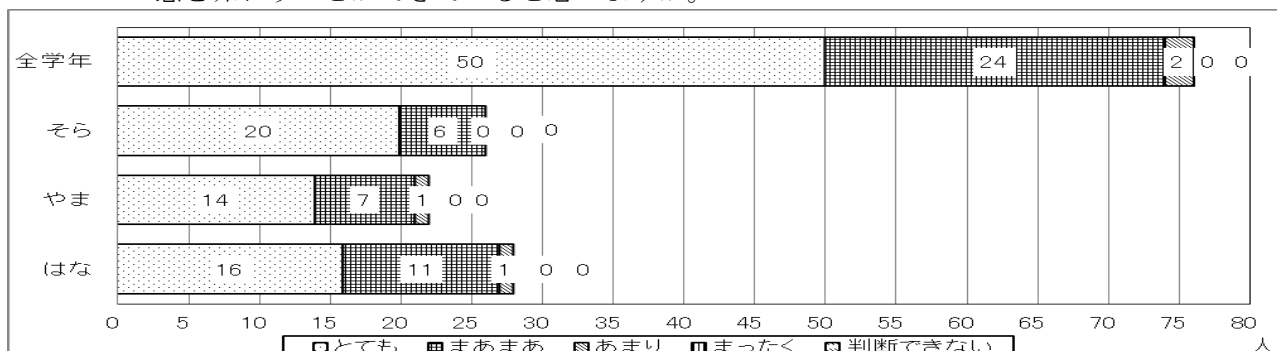


※引き続き、子供たちが豊かな心を育むことのできるよう、季節行事やお茶会などの行事を工夫していく。

Ⅲ かんがえる子ども

【資料6】豊かな感性や表現力・知的好奇心を育むことについて

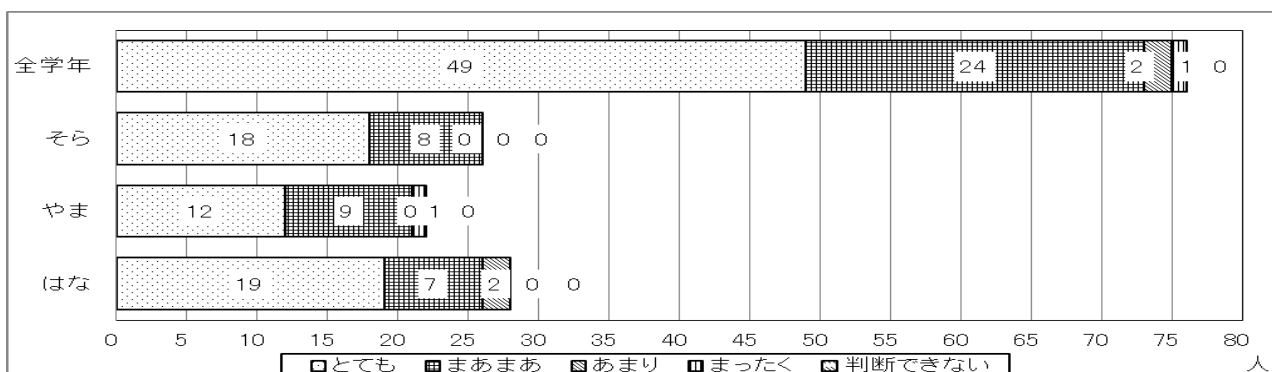
〔質問3〕子供たちは、様々なことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして達成感を味わうことができていると思いますか。



※引き続き子供たちが、様々なことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして達成感を味わうことができるように保育の充実を図っていく。

【資料7】知的好奇心をかきたて感動体験を味わう遠足などの園外活動について

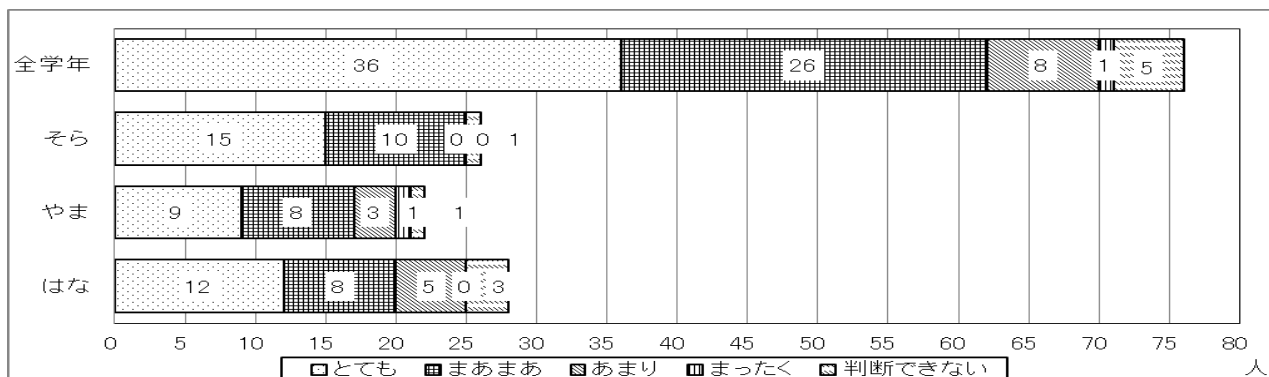
〔質問8〕遠足などの園外活動は、様々なふれあいや体験によって、マナーを守ろうとする心、表現力、知的好奇心を育てていると思いますか。



※引き続き、子供たちのマナーを守ろうとする心、表現力、知的好奇心を育む豊かな体験ができるよう、遠足などの園外活動の充実を図っていく。

【資料8】環境教育の推進について

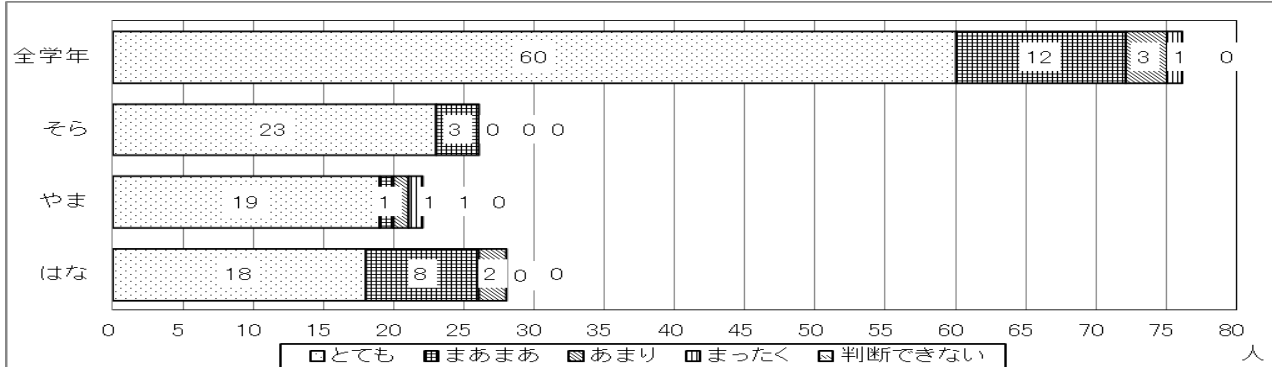
〔質問10〕リユース（再使用）やリサイクル活動に取り組むことで、子供たちの環境を大切にする気持ちを培っていると思いますか。



※引き続き、子供たちの環境を大切にする気持ちを培うことのできるよう、リユース（再使用）やリサイクル活動に取り組んでいく。

【資料 9】 自然の美しさや生命の尊さに気付き大切にすることを育む活動について

〔質問 1 1〕 園庭の環境活用、栽培、飼育などの活動によって、自然や生き物に親しみ、命を大切に
する気持ちを培っていると思いますか。

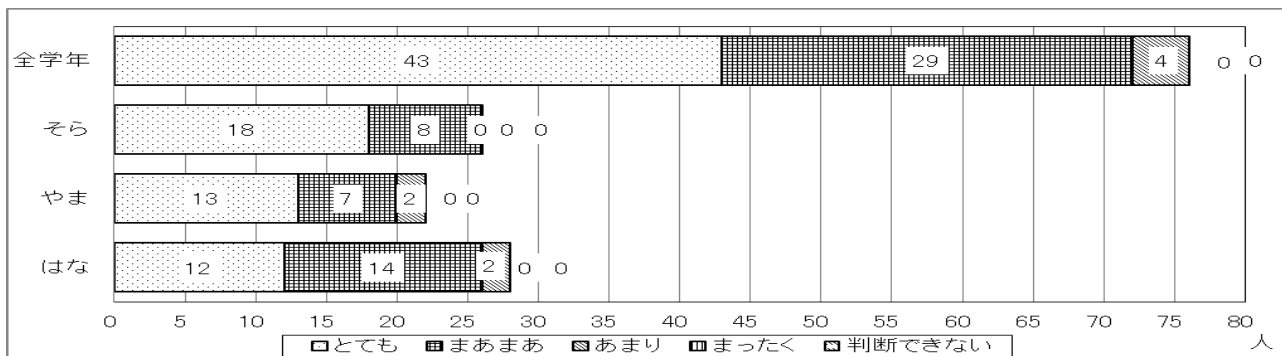


※引き続き、自然や生き物に親しみ、命を大切にすることを育むことのできるよう、園庭の環境活用、栽培、飼育などの活動を工夫していく。

IV その他

【資料 1 0】 幼児理解について

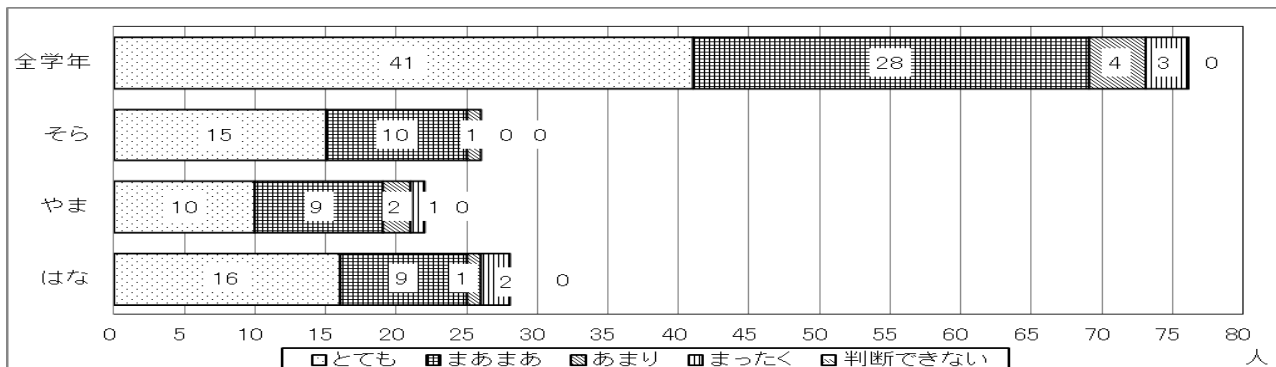
〔質問 4〕 幼稚園は、子供を理解して指導していると思いますか。



※引き続き保護者の方と連携しながら、幼児理解に努めていく。

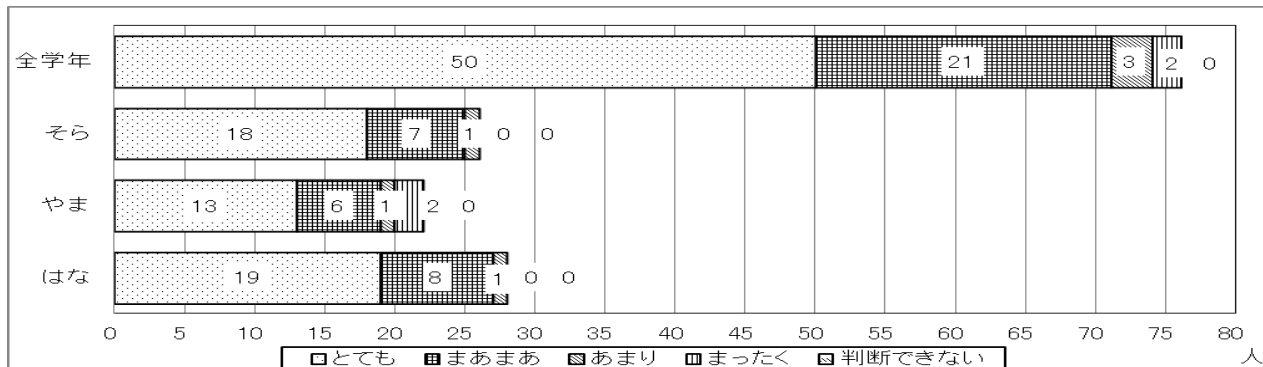
【資料 1 1】 子育てに関すること

〈1〉〔質問 1 2〕 幼稚園は子供や保護者の話を聞くなど、適切に子育て相談に取り組み、必要な対応
をしていると思いますか。



※幼稚園では、子供から園生活における出来事などの話をよく聞いたり、遊びの中でのつぶやきなどについても耳を傾けたりしていく。

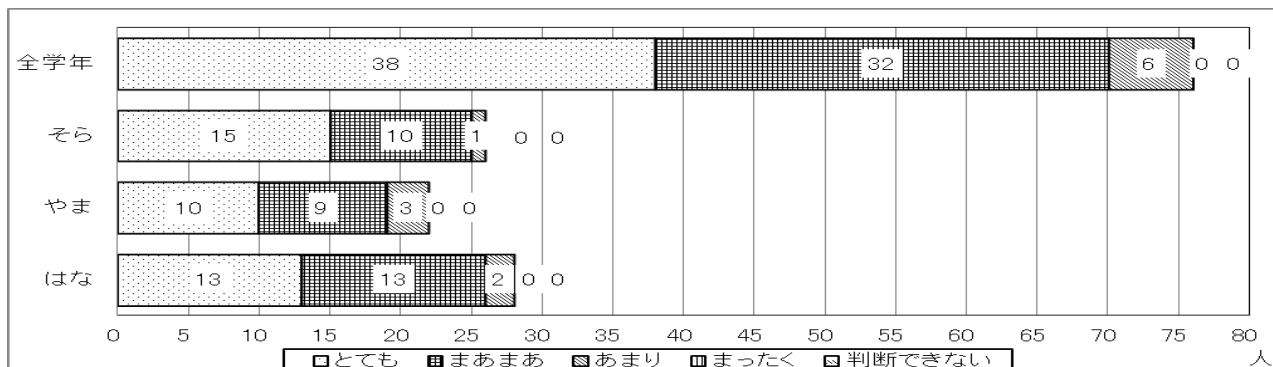
〈2〉〔質問13〕保護者参加行事や行事運営の協力などは、子供たちの園生活の充実につながり、園教育の理解を深める機会となっていますか。



※園教育の理解を深める機会とするため、行事の目的を考慮し保護者参加や運営の協力などを求めていく。

【資料12】幼稚園理解に関すること

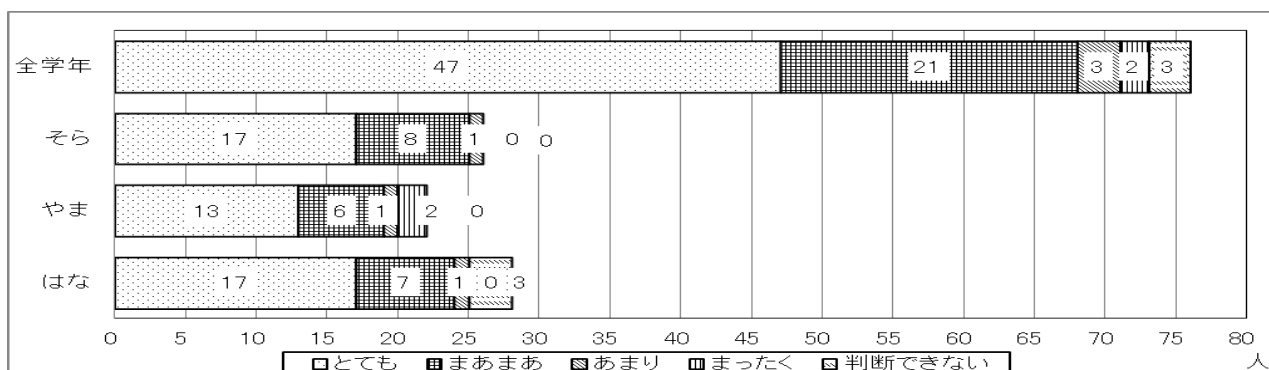
〔質問15〕幼稚園の情報や様子が伝えられていると思いますか。



※引き続き幼稚園の情報や様子が伝えられるよう努めていく。

【資料13】安全指導等に関すること

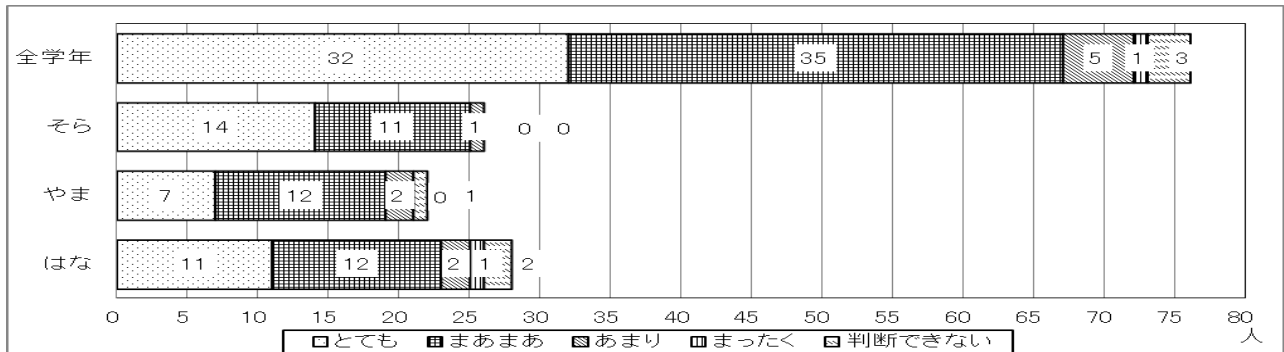
〔質問14〕幼稚園は危険防止、災害への対応など、安全指導（教育）を含め適切に行っていると思いますか。



※引き続き健康や安全について、計画的にまた個別に指導・助言していく。

【資料 1 4】 互恵性のある交流を図るためのチーム保育について

〔質問 5〕 全教職員が連携して保育を実践していると思いますか。



※引き続き連携した保育の充実を図っていく。

平成28年3月

千代田区立麴町幼稚園

参 考 資 料

- 1 保護者アンケート
- 2 自己（幼稚園）主な評価（改善点）

1 保護者アンケート

質問について、当てはまる回答欄の○数字を、黒の油性・水性ペンでぬりつぶしてください。

_____組 保護者 ←組をご記入ください。

	質 問	回 答
1	子供たちは、健康や生活に必要な習慣を身に付けたり、体を動かすことを楽しんだりしていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
2	子供たちは、先生や友達とかかわりを楽しみながら、またルールや約束を守って遊んだり生活したりしていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
3	子供たちは、様々なことに興味をもち、自分で考えて取り組んだり、挑戦したりして達成感を味わうことができていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
4	幼稚園は、子供を理解して指導していると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
5	全教職員が連携して保育を実践していると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
6	保育室、園庭、校庭、体育館、温水プールの特徴を生かし、運動遊びや体を動かす環境の工夫が行われていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
7	保育園や小学校、地域との交流活動は、人とかかわりを豊かにし、思いやりなどの心を育てていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
8	遠足などの園外活動は、様々なふれあいや体験によって、マナーを守ろうとする心、表現力、知的好奇心を育てていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
9	季節行事やお茶会などは、豊かな心を育てていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
10	リユース（再使用）やリサイクル活動に取り組むことで、子供たちの環境を大切にす気持ちを培っていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
11	園庭の環境活用、栽培、飼育などの活動によって、自然や生き物に親しみ、命を大切にす気持ちを培っていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
12	幼稚園は子供や保護者の話を聞くなど、適切に子育て相談に取り組み、必要な対応をしていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
13	保護者参加行事や行事運営の協力などは、子供たちの園生活の充実につながり、園教育の理解を深める機会となっていますか。	① ② ③ ④ ⑤
14	幼稚園は危険防止、災害への対応など、安全指導（教育）を含め適切に行っていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤
15	幼稚園の情報や様子が伝えられていると思いますか。	① ② ③ ④ ⑤

ご意見等がございましたらご自由にお書きください。（枠内にお書きください）

2 自己（幼稚園の）主な評価（改善点）

評価項目	課題・改善点
保育指導	<p>○学年の実態や経験させたいことに合わせて、園庭・校庭・みんなのへや・体育館などの共有の場を有効に活用する。</p> <p>○複数ある学級に補助に入る保育者（副担任、学習・生活支援員）や預かり保育担当との連携を強化するために、適宜、打ち合わせの時間を作る。</p> <p>○4・5歳児でペアを固定し、年間で異年齢交流をしてきたことにより、全体的な交流が促され、成果があった。次年度以降も計画的に実施する。</p>
行事のもちかた	<p>○2学期に大きな行事が多くあるため、幼児に経験させたい内容を明らかにしながら、計画的に保育を進めることが必要である。そのために、各行事の評価・反省を、着実に次年度に引き継いでいく。</p>
プール・水遊び指導	<p>○4・5歳児は屋内プールでの遊びが中心である。次年度以降、園庭やテラス、校庭などで水遊びをする機会を取り入れて、より水に親しむことができるようにする。</p> <p>○次年度は、水泳指導員による指導は5歳児を中心に実施し、4歳児は水に触れる楽しさを十分に味わえるような経験を多く取り入れる。同時に5歳児は、水泳指導員による指導の充実を目指し、年度当初の打ち合わせを丁寧に行う。</p>
安全管理・保健管理	<p>○嘔吐物処理、アレルギー対応などは、毎学期始めなどに複数回研修の機会を設ける。</p>
組織運営	<p>○平成28年度より予算執行のシステムが大幅に変更された。システムや予算配分などを共通理解し、計画的な予算執行を実施する。</p>
小学校との連携	<p>○互いの教育内容を理解するために、研究保育や研究授業を互いに見合うことが大変有効であった。次年度も計画的に実施する。</p>